



「カルデラマラソン」、過去最高出場者で賑わう

第18回阿蘇カルデラスーパーマラソン大会が、6月2日、外輪山一帯で開催され、今年は過去最高の1138人(100kmの部男子569人女子65人、50kmの部男子412人女子92人)が出場しました。

100kmレースは、南阿蘇村ウイナスを朝5時スタート。外輪山を延々と走り小嵐山から下って総合センター(内牧)がゴールという過酷なレースですが、雄大な自然やコース途中に設けられた波野そばや地元産野菜スープ・果物等の提供、また、この大会を笑顔で支えるボランティアの協力、沿道での市民の声援が参加選手に親しまれる大会へとつながったようです。



50kmの部スタートのようす(波野)



選手として阿蘇市民の中からも、100km男子に5人、50kmには男子14人女子1人が出場しています。中でも山本眞一さん(55歳 西小倉、左写真)は「100km連続15回出場」という快挙を成し遂げました。

また、大会ボランティアとして阿蘇高校・阿蘇清峰高校・波野中の生徒たちも頑張ってくれました。皆さんお疲れさまでした!

100キロを11時間という好記録で走り、15回目の完走を果たし応援団から花束を贈られた山本さん。山本さんは16年前大会を見て阿蘇町から一人も出場していないことを知り、翌年からの出場を決意。その翌日からタバコを絶ち練習を始めました。山本さんによると大会の日より、夜中行う日々の練習の方が大変できついのこと。まさにこれを乗り越える精神力こそ鉄人の体につながる要素。今後も体力の続く限り走りたいとのこと。



ハチマキ姿で応援する波野東部保育園児



親子であいさつ練習。「マナー教室」に参加

乙姫保育園で、6月19日、保育参観に併わせ「マナー(礼法)教室」が行われました。園では3年前から園児にマナー学習を取り入れており、年に6回教室を実施しています。今回は、日ごろの園児たちの学習の様子を保護者に見てもらい、実際に参加もしてもらおうと企画。参加した24人の保護者は、宮地の森京子さん(礼法講師)の指導のもと親子で真剣に取り組み、幼い頃から礼儀作法を身につける大切さを実感しました。

地域交流かね中学女子ソフトボール大会開催

阿蘇ライオンズクラブは、5月27日、阿蘇都市ソフトボール協会の協力で、第7回阿蘇都市中学校女子ソフトボール大会ライオンズ杯を開催しました。会場となった阿蘇中学校のグラウンドには、日ごろの練習の成果を出そうという選手たちが集合。青少年健全育成や地域交流を目的とした今大会にふさわしいプレーで会場をわかせました。阿蘇市からも今大会2位となった一の宮中はじめ阿蘇中、阿蘇北中が参加しました。

